

■日時 平成26年8月21日(木) ■天候 晴れ

愛知県立愛知工業高校 対 師友塾高校・通

■球場 駒沢公園硬式野球場 第1試合 4回戦 準決勝 ■試合時間 2時間25分 ■備考

■審判 球審:渡辺登 塁審:浜田 松山 小林

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9							計	安	失
愛知工	東海・愛知	1	1	0	0	0	0	0	6	2							10	9	2
師友塾・通	西中国・広島	0	0	0	2	0	0	1	0	0							3	6	1

愛知工																			
	ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9				
1	投	伊藤 将宏	4	1	0	0	遊飛		捕邪			左飛	死球		二飛				
2	遊	関 洋晃	3	3	1	2	右本		二ゴ			三振	四球		死球				
3	中	大塚 直樹	3	2	2	1	死球		三ゴ			死球	左安		中2				
4	捕	佐藤 雅大	4	1	1	3	一飛			三振		一飛	死球		中3				
5	左	水口 正仁	5	1	1	0		右安		三振			三振	三振	三振				
6	一	横山 和幸	4	0	2	3		中安		三振			三振	左2	四球				
7	三	谷川 旦遥	5	0	0	0		三振			左飛	中飛	三振	三振	投飛				
8	右	小野 明	2	0	0	0		投ゴ			捕邪		四球						
8	走 右	荒尾 祐次	1	1	1	1									二安				
9	二	前田 紅麗	4	1	1	0		三ゴ		三振			中安	捕邪					
合計			35	10	9	10	残塁:6		併殺:1										
備考																			

■バッテリー

投手
伊藤 将宏

捕手
佐藤 雅大

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
伊藤 将宏	9	35	6	8	2	0

師友塾・通																			
	ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9				
1	三	山中 偉央	4	0	1	0	遊安			三振		中飛	一ゴ						
2	一	高橋 拓実	4	0	0	0	遊ゴ			投ゴ		捕飛	三振						
3	左	大崎 天嗣	4	1	0	0	中飛			二失		三振	投ゴ						
4	捕	中村 享平	4	1	1	2		遊ゴ		中本		左飛	遊ゴ						
5	投	鈴木 和寿	4	0	3	0		遊安		投ゴ		中安		左2					
6	遊 左	山口 光	3	1	0	0		三振			投ゴ	死球		左飛					
7	二	高橋 健太	4	0	0	0			遊ゴ		三振	投失		中飛					
8	右	永谷 海斗	0	0	0	0													
7		琴谷 惣一	4	0	1	0			三振		二安	投ゴ		三振					
9	中	小濱 太一	2	0	0	1			三振		中飛	四球							
合計			33	3	6	3	残塁:5		併殺:1										
備考																			

■バッテリー

投手
鈴木 和寿
山中 偉央

捕手
中村 享平
鈴木 和寿

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
鈴木 和寿	7 0/3	29	4	8	5	6
山中 偉央	2	14	5	3	3	4

■戦評

駒沢球場の準決勝は午前中神宮球場で行われた準々決勝をともにコールド勝ちした愛知工業高校と師友塾高校通信制の顔合わせとなった。どちらが勝っても初の決勝進出となるこの一戦先発は愛知工業伊藤将、師友塾鈴木と両チームとも準々決勝と同じ投手を起用した。愛知工業は初回2番関の右翼越ランニング本塁打で1点を先制する。続く2回先頭の5番水口が安打で出塁し二盗を決め好機を広げると6番横山の適時安打で1点を追加し暴投によりなお無死二塁と攻め込む。しかしここは師友塾先発鈴木が踏み張り後続を断って最少失点で切り抜けると徐々に本来の調子を取り戻す。3回を三者凡退に抑えると4回には三者連続三振を奪い味方の援護を待つ。するとその裏二死から敵失で出塁した走者を一塁に置き4番中村が中堅越のランニング本塁打を放ち師友塾が同点に追いつく。両先発とも連投の疲れも見せぬ好投を続け両チーム次の1点が奪えないまま試合は終盤へ。7回裏師友塾は安打と四球などで満塁の好機に9番小濱が押し出す四球を選び逆転に成功する。あきらめない愛知工業は8回安打と四球で無死満塁とすると2番関が押し出す四球を選び同点とする。さらに代わった師友塾2番山中から2本の適時安打などで5点を上げ再びリードを奪うと9回には4番佐藤の適時二塁打で2点を駄目押しした。9回裏師友塾は5番鈴木がこの試合3安打目となる二塁打を放つも後続が断たれ試合終了。10-3で愛知工業が勝利し決勝へ駒を進めた。一方敗れたとはいえ四球や犠打を効率よく得点に結びつけ隙のない攻撃を見せる師友塾の野球は全国三位の名にふさわしいものであったことは言うまでもないだろう。